

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2014 年 8 月

## ISO/TC 61/SC 5(物理・化学的性質)分野における日本の規格開発の状況

ISO/TC61/SC5 は、プラスチックの物理・化学的性質の試験方法に関する規格の制定・改正を担当し、現在までに、87 の規格が発行されている。TC61/SC5 の国際議長はスイスが、国際幹事はドイツ(DIN)が担当している。SC5 傘下で活動中の作業部会 (WG) を表.1 に示す。

昨年まで WG24 (環境ガイド) があったが、審議案件が少ないこともあり解散した。旧 WG24 関連テーマの審議は、WG22 又は WG23 で行うこととなった。

表.1 TC61/SC5 の WG

WG	幹事国	名称
5	ドイツ	粘度
8	ドイツ	熱的性質
9	イギリス	レオロジー
11	オランダ	分析手法
22	日本	生分解性プラスチック
23	アメリカ	バイオベースプラスチック

\*SC5 の幹事国：ドイツ

TC61 の年次会議が毎年 9 月ごろに開催され、そこで全ての SC 及びほとんどの WG の会議が開催され、審議が行われる。日本からは毎年多数 (50~60 人) のメンバーが参加している。

昨年 2013 年は 9 月 9 日~9 月 13 日に中国の蘇州にて年次会議が開催された。本年 (2014 年度) は、9 月 22 日~9 月 26 日にアメリカ/ハワイ/ホノルルにて開催予定である。

WG22 のコンベンターは日本がとっており、SC5 全体に対しても日本の寄与は大きい。

日本提案の規格開発を中心に、以下に WG 別にこの一年の進捗状況及び今後の取り進めについて報告する。

### 1. 粘度 (WG 5)

ISO 2555 (液状又は乳濁状樹脂のブルックフィールド形粘度計による粘度の測定) を改正すべく、日本より改正案を提出した。現在、WG 5 関係のメンバーに回付されている。本改正案について 9 月のホノルルの会議で審議される予定である。

### 2. 熱的性質 (WG 8)

日本提案の ISO 11358-3 (TG-第 3 部：小沢ーフリードマンプロットによる活性化エネルギーの求め方と反応速度解析)及び ISO 22007-6 (熱伝導率・熱拡散率測定法—第 6 部：断熱材) は、いずれも

2013年蘇州会議で審議され、その後 FDIS 投票にて承認され、IS が発行された。

また、蘇州会議にて、新規の開発テーマとして、日本提案の温度変調 DSC に関する規格案件（5部構成）を投票にかけることが承認された。この決定に基づき、既に第1部の NP 投票を実施中である。投票結果についてホノルル会議にて審議し、CD 段階に進める予定である。後続の部についても現在、作成中である。

### 3.レオロジー（WG 9）

ISO/DIS 6721-10（平行板振動レオメータによる複素せん断粘度）は、韓国提案であるが日本も積極賛成で指示している。昨年蘇州会議にて CD 投票結果が審議され、DIS 投票に進むことが承認された。間もなく、DIS 投票が開始される見込みである。

### 4. 分析手法（WG 11）

以前に年次会議にて、「MALDI・TOF・MS によるポリエチレングリコール誘導体の平均分子量及び混合比の求め方」について、日本よりプレゼンを行っており、他国からも同規格の開発が望まれていた。今回、WD を作成し、現在 NP 投票を実施中である。ホノルル会議で投票結果を審議し、次段階（CD 投票）に進めるようにしたいと考えている。

日本提案の ISO 177221（像鮮明度の求め方）及び ISO 177223（黄色度及び黄変度の求め方）は、いずれも FDIS 投票での承認を経て、IS 発行となった。

### 5. 生分解性プラスチック（WG 22）

CD 18830（海水/砂状堆積物境界での嫌気生分度の求め方）は、蘇州会議で CD 投票に進むことが承認され、CD 投票が実施された。今度のホノルル会議で投票結果が審議される。

ISO 17422（環境側面一般ガイドライン/WG24 案件）は、定期見直し投票にて、“改正”は日本のみであったので、“確認”とされたが、日本が改正案を提出すれば審議可能となった。そこで、日本案を作成し、SC5 事務局に提出した。ホノルル会議にて改正の可否について議論する。

### 6. バイオベースプラスチック（WG 23）

日本提案 NP 16220-1～3（生物由来の含有量の求め方—第1部～3部）の投票を再度行い、昨年の蘇州会議にて承認され、DIS 投票に進むこととなった。また、NP 16220-4 及び-5 についても、新規提案が行われた。ホノルル会議では、1～3部の DIS 投票、4部の CD 投票及び5部の NP 投票の各々の結果について、審議される予定である。

以上